

日常の風景をつむぐ トンネル坂の環境リノベーション

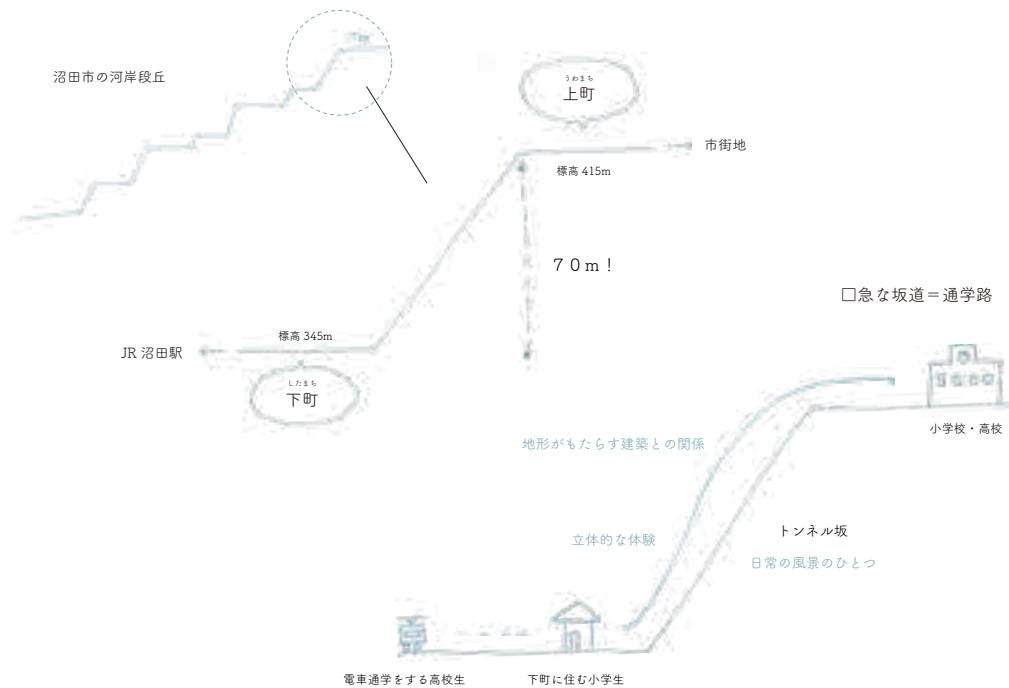


さまざまな背景から、地方のまちで増加している空き家。

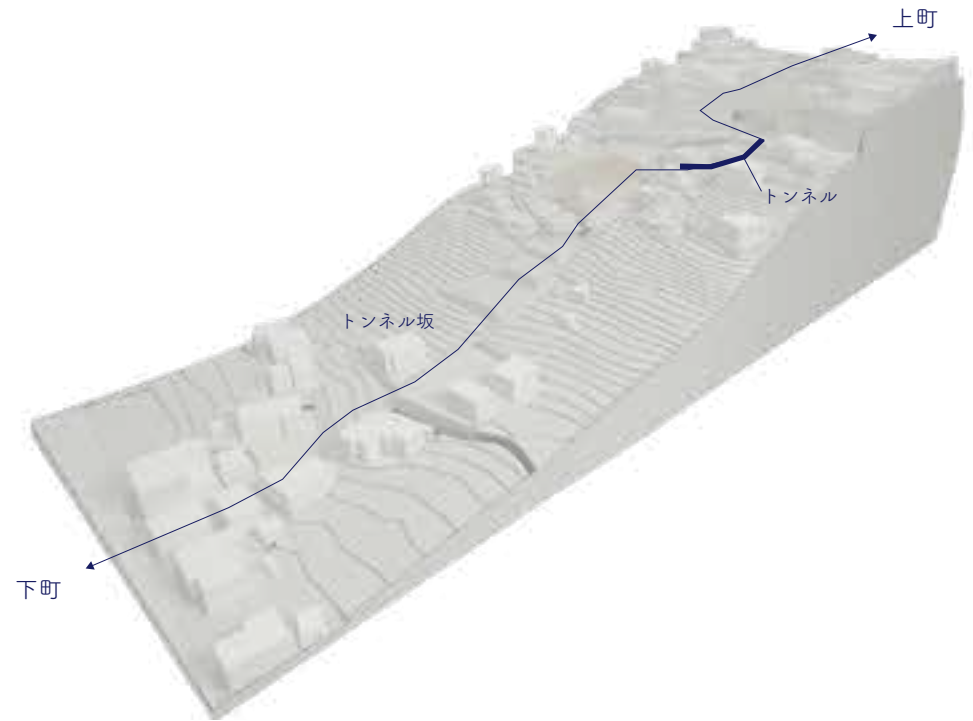
トンネル坂は日常の動線として利用されているが空き家も多く、寂れた雰囲気場所となっているが、これまで少しずつ手が加えられてきた暮らしの跡や、地形そのものの迫力によってとても魅力的な風景が生まれている。

地形と建物がつくるトンネル坂の空間的特徴を捉え、既存の状態に寄り添いながら新たな環境形成へ引き継ぐリノベーションを行うことで、坂道から広がる新たな日常の風景をつむいでいく。

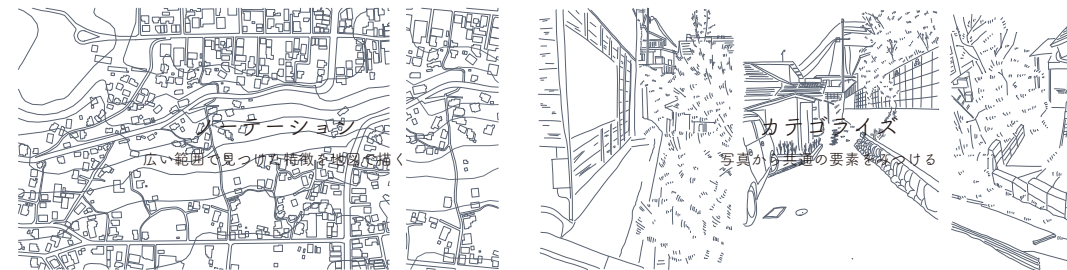
□河岸段丘にある坂道：トンネル坂



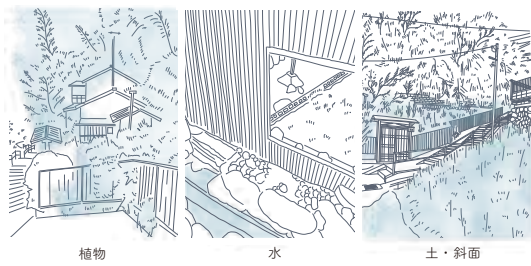
□トンネル坂について



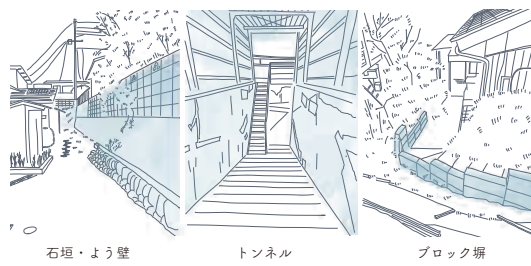
トンネル坂でみつけたこと



自然のもの

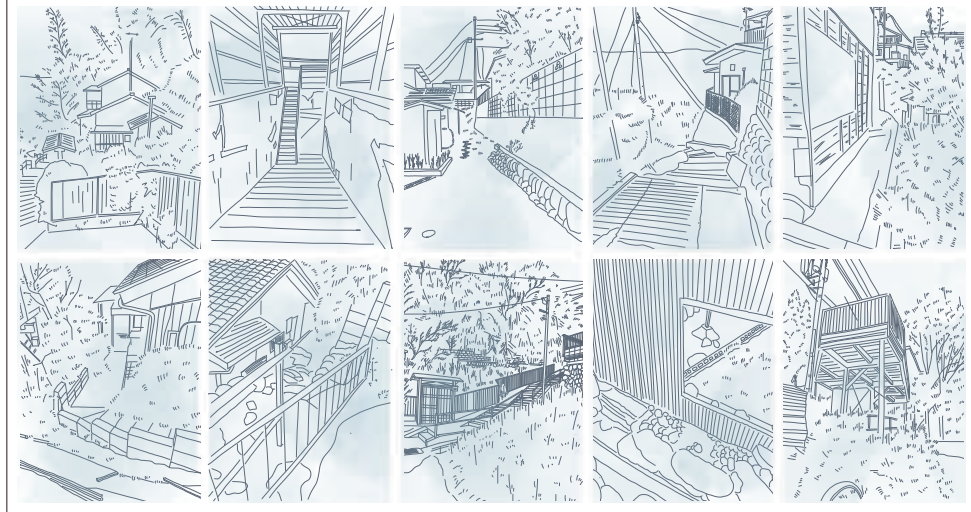


人工的なもの



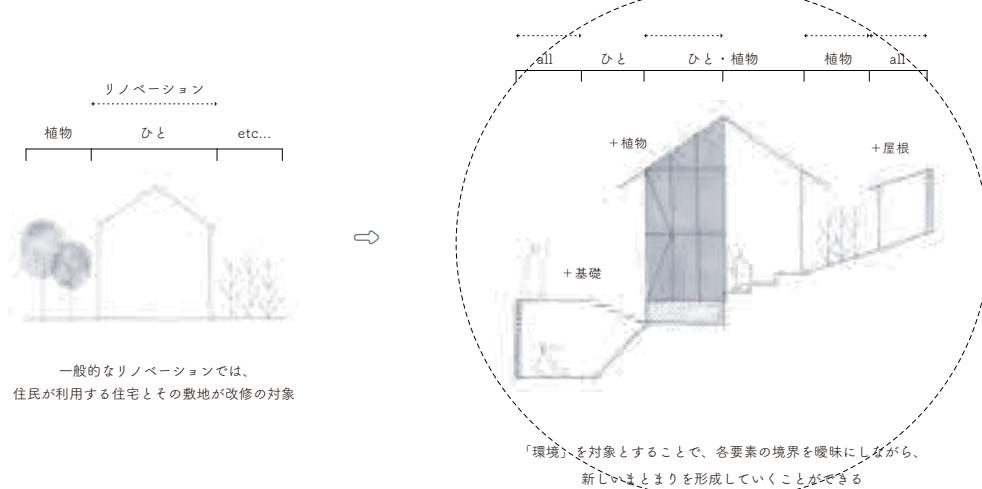
トンネル坂の魅力的なものは、建物やモノといった人工物から植物や水の流れといった自然のもの、地形などさまざまな要素。

トンネル坂の「環境」



これらを等価に扱い、トンネル坂の「環境」として一体的にとらえ、リノベーションの対象へ

□環境のリノベーション



□B+Cエリア 崖上の平地と石垣のある住宅



□Gエリア：緑に覆われた建物と地形



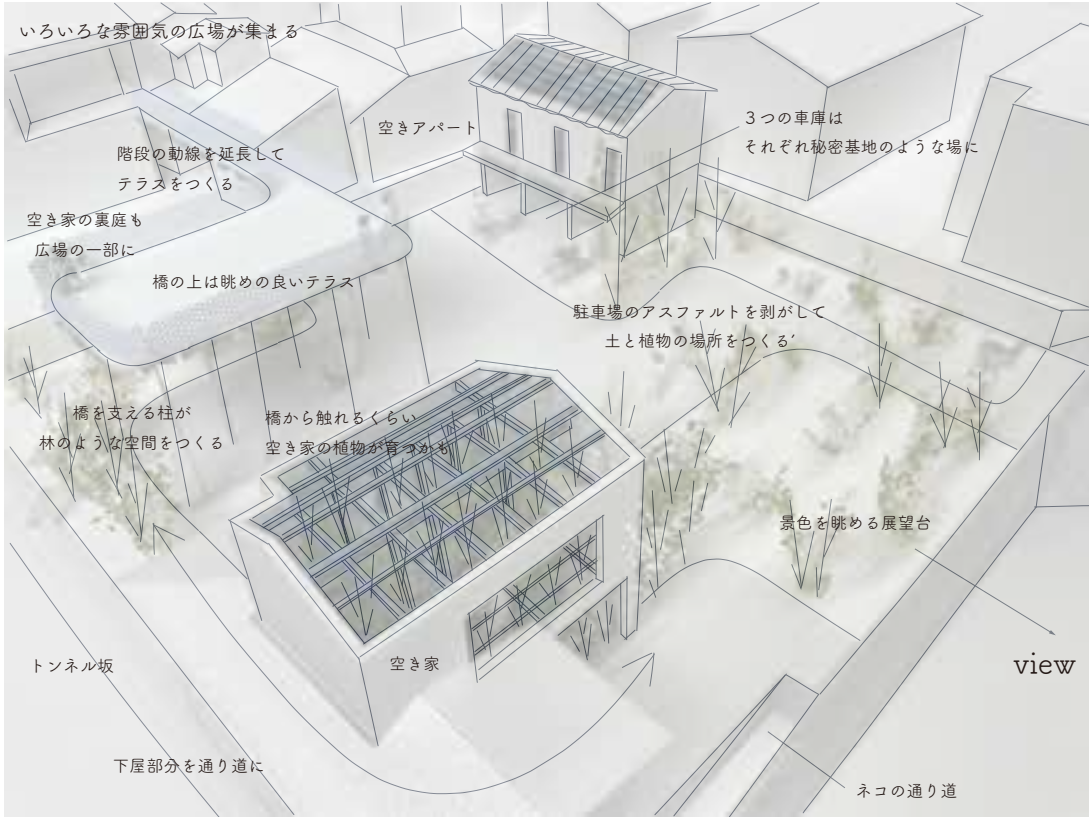
□Hエリア：小道の住宅群



□Iエリア：あきちと畑と坂道



□ A エリア：見晴らしの良い駐車場といろいろな建物



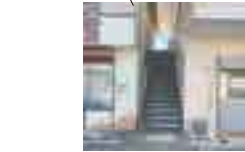
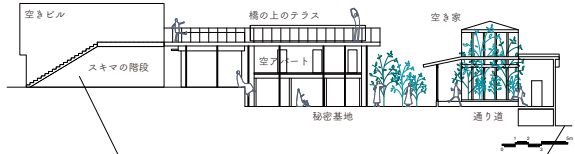
駐車場の地面→地面を剥がしてランドスケープをつくる



舗装されたアスファルト
ひび割れて元の土が現れ、植物が顔をだす



アスファルトは走り回ったり
芝生になった地面はゆったり過ごすゾーンに



△階段ビッタリの階段



△人は通れない、ネコの通り道

空き家→思い切って丸ごと植物の棲家にと下屋部分は人の通り道に



△坂道から引き込むようなアプローチ

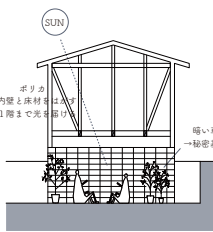


通り道

空きアパート→3つの秘密基地に

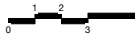
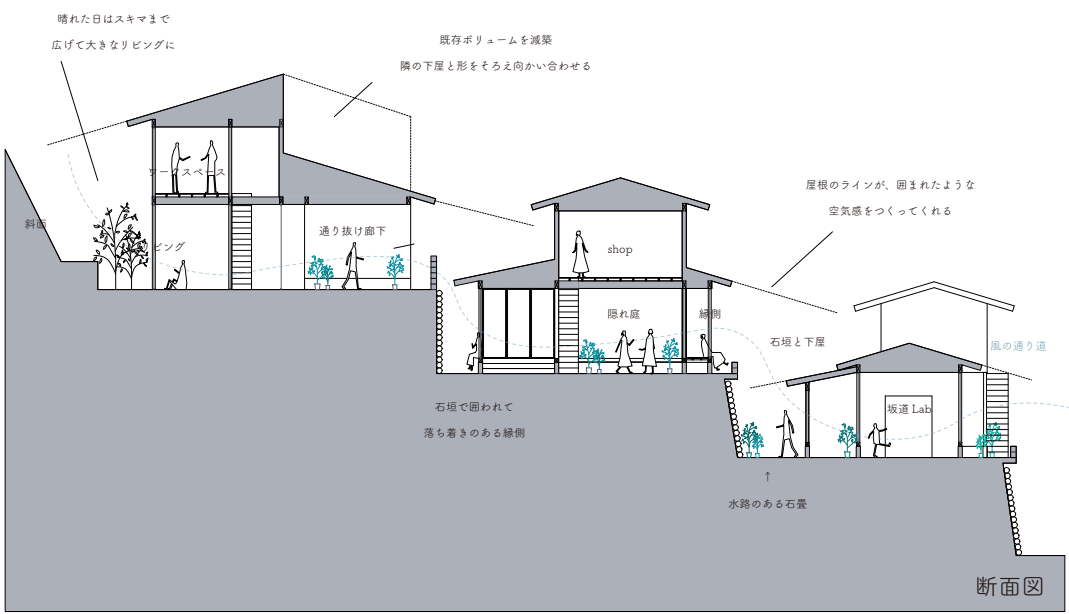


3つ並んだ車庫が特徴的

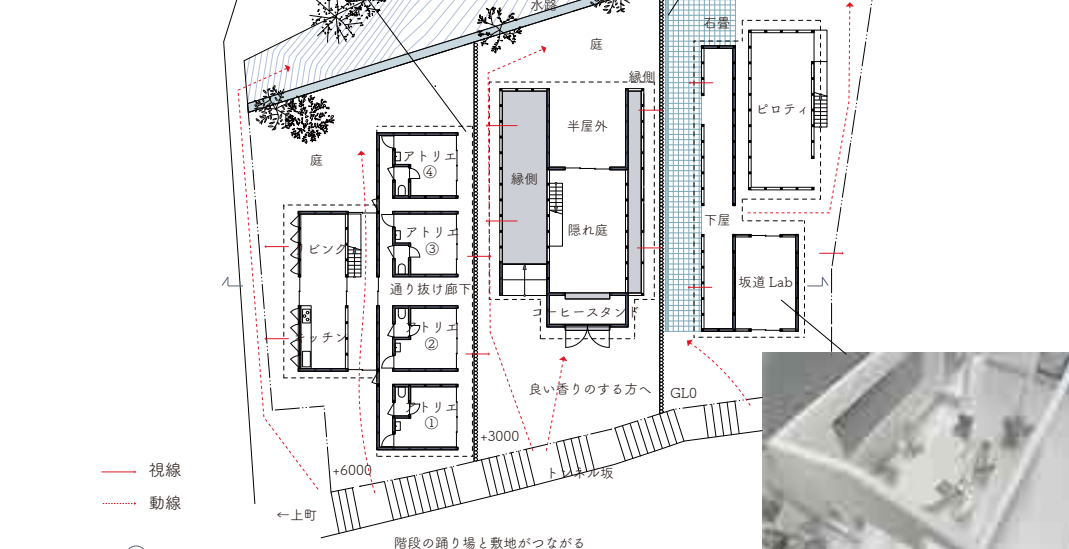


既存の増築部分は解体する

□ E エリア：段々の3軒家



建物とブロック塀の隙間はアトリエのベランダに



ものづくりや園芸の宿題をする

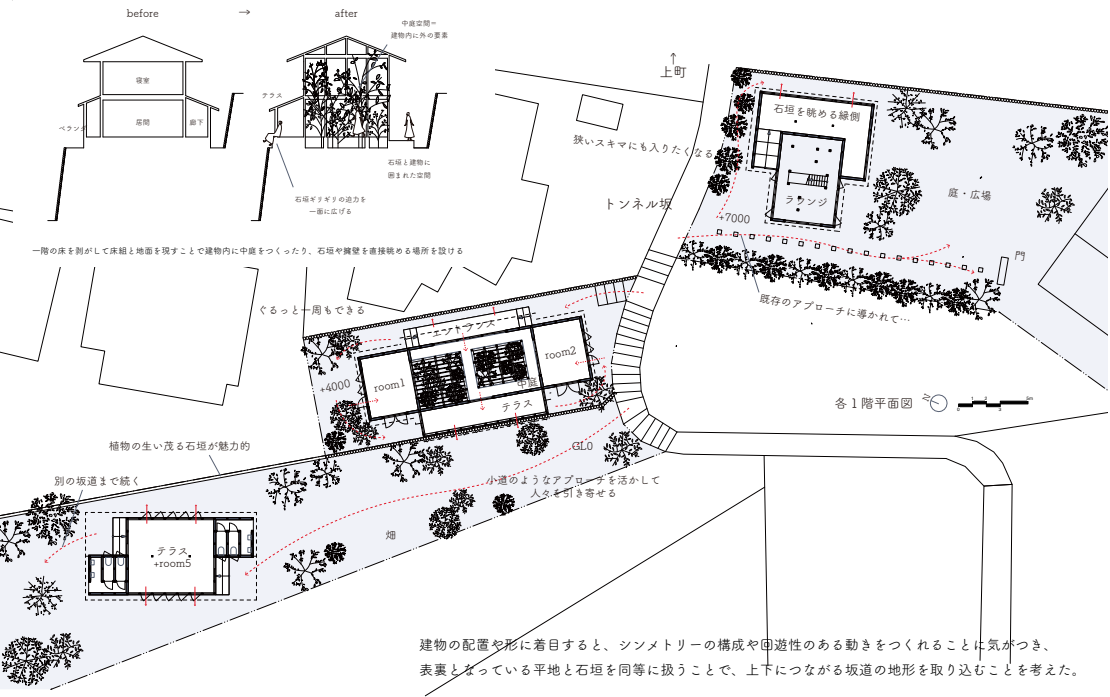
□B+Cエリア：崖上の平地と石垣のある住宅



少人数で使える個室の貸し部屋（計5つ）
：友達と勉強会、サークルの集まりに利用

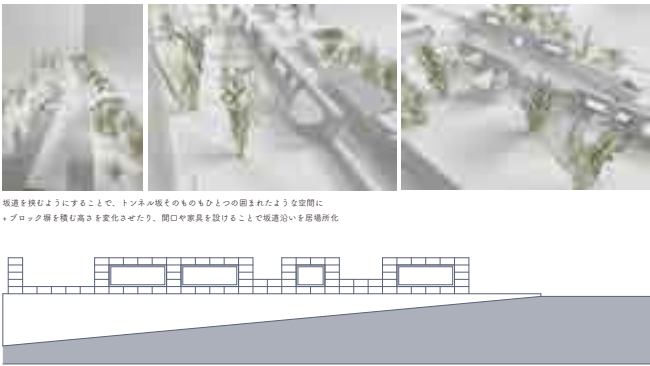
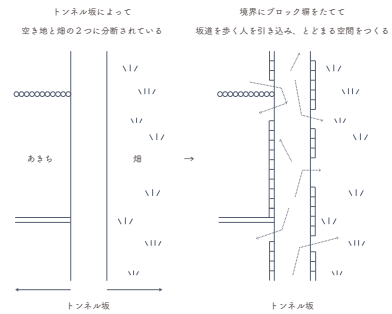
人が立ち寄ることもなかった
平地全体が庭や広場のように使われる

植物の生い茂る格好良い擁壁を眺める



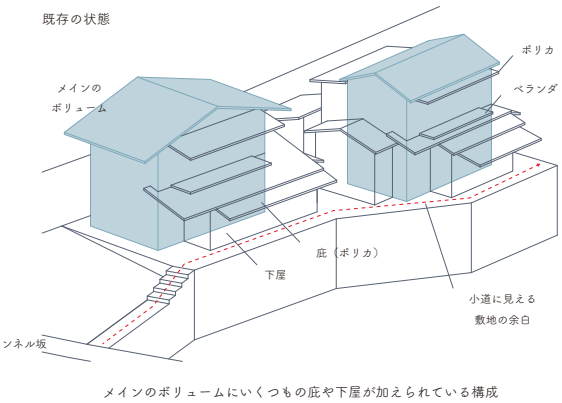
□I・Jエリア：あきちと畑と坂道

計画ダイアグラム



坂道を採むようにすることで、トンネル坂そのものもひとつの囲まれたような空間に
+ブロック塀を積み高さを変化させたり、開口や家具を設けることで坂道沿いを居場所化

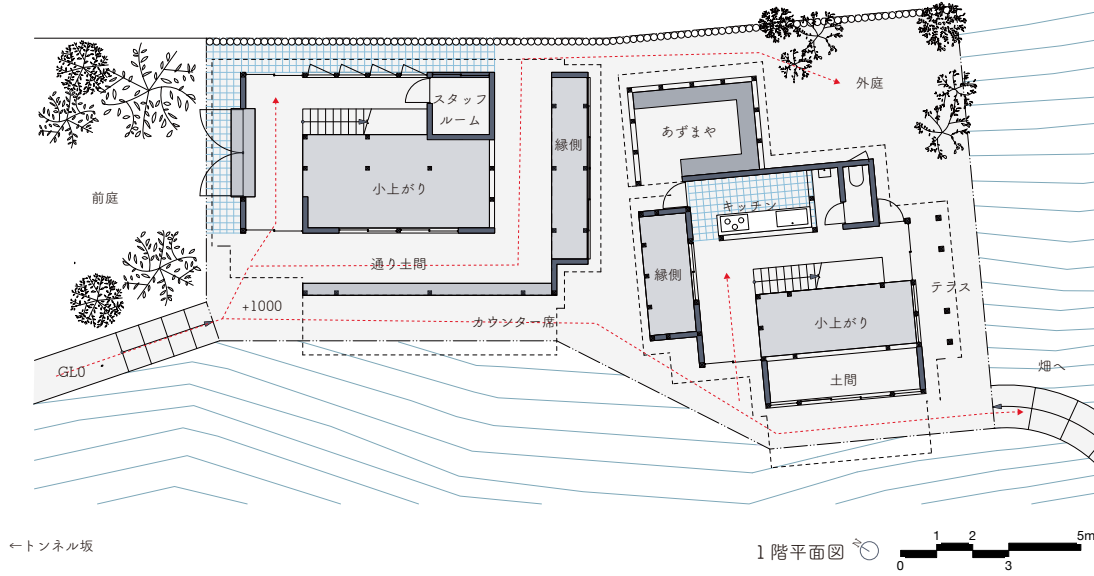
□Dエリア：小道を共有する住宅



メインのボリュームにいくつもの庇や下屋が加えられている構成



小道に導かれながら奥に入り込む場所をつけ、トンネル坂での特異さを抑えつつと過ごす



←トンネル坂

1 階平面図 0 1 2 3 5m

